

平成16年度 事業報告書

第1. 事業実施概要

西条市・東予市・丹原町・小松町の行政合併による新たな「西条市」の誕生とともに市民誰もが安心して暮らしていける福祉のまちづくりへの期待は一層高まっている。

このような中、社会福祉協議会は、地域福祉推進団体として、市民の福祉ニーズに立脚した社会福祉事業の展開や住民参加による地域福祉活動の推進を図るとともに、福祉サービスを必要とする人々が社会から疎外されることなく、地域の方々と共生できる社会・福祉コミュニティづくりの推進を行う必要がある。

本会は、合併初年度にあたり、新たな法人組織としての基盤整備を図るとともに、各社協が今日まで培ってきた地域福祉・在宅福祉の成果を踏まえ、重点活動項目に沿った事業を実施し、市民の“健康で幸せな暮らし”の実現に向けて努力を傾注した。

[重点活動項目]

1. 法人運営の基盤整備
2. 地域福祉事業の推進
3. ボランティア活動等、福祉教育の推進
4. 福祉相談・援助事業の推進
5. 共同募金運動等の推進
6. 在宅福祉サービスの推進

第2. 事業の実施状況

一、法人運営の基盤整備

1、西条市社会福祉協議会開所式開催

平成16年11月1日、西条市東予総合福祉センターにおいて社会福祉法人西条市社会福祉協議会開所式を行った。また、同日に新法人設立登記及び旧2市2町社協解散登記を行い、新たな「社会福祉法人西条市社会福祉協議会」が成立した。

西条市社会福祉協議会の組織構成

理事 16名（会長1名、副会長3名） 監事 3名 評議員 38名 支部社協 26支部
職員構成（3月末現在）

区分	正職員	臨時・嘱託職員	非常勤職員	合計
本所	6	6	0	12
西条支所	12	6	53	71
東予支所	27	12	102	141
丹原支所	11	11	20	42
小松支所	14	6	26	46
合計	70	41	201	312

2、理事会の開催

第1回理事会

平成16年11月1日、西条市東予総合福祉センターにて開催
理事定数16名中15名、監事3名の出席により協議を行った。

当面する課題について

第2回理事会

平成16年11月27日、西条市東予総合福祉センターにて開催
理事定数16名中12名の出席により下記議案の審議を行ない、原案が承認された。

第1号議案 評議員選任同意について

第2号議案 諸規程の制定について

第3回理事会

平成17年3月1日、西条市東予総合福祉センターにて開催
理事定数16名中15名の出席により下記議案の審議を行った。

第1号議案 会長、副会長の選任について

第2号議案 評議員の選任同意について（一部改選）

第4回理事会

平成17年3月26日、西条市東予総合福祉センターにて開催
理事定数16名中16名、監事2名の出席により下記議案の審議を行ない、原案が承認

された。

第1号議案 平成16年度収支補正予算（案）について

第2号議案 平成17年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

第3号議案 高等学校生修学金に関する規程（案）について

3、評議員会の開催

第1回評議員会

平成17年3月1日、西条市東予総合福祉センターにて開催

評議員定数38名中29名、理事4名の出席により下記議案を審議し、原案が承認された。

第1号議案 理事・監事選任について

第2回評議員会

平成17年3月26日、西条市東予総合福祉センターにて開催

評議員定数38名中34名、理事4名の出席により下記議案を審議し、原案が承認された。

第1号議案 平成16年度収支補正予算（案）について

第2号議案 平成17年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

第3号議案 監事の選任について（一部改選）

4、研修会及び諸会議への参加

次の諸会議、研修会及び大会等に役員・職員等関係者を派遣し、関係団体との連携を図るとともに、知識・技術の習得に努めた。

11月	3日	ボランティアコーディネーター研修会（18日）	松山市
	10日	基幹型在宅介護支援センター研修会	松山市
	12日	松山市在宅介護支援センター管理者・職員研修会	松山市
	18日	地域リーダー養成研修会（19、25、26日）	県社協
	26日	在宅介護支援センター研修会	今治市
12月	2日	ガイドヘルパー養成研修会（～3日）	県社協
	6日	ふれあいのまちづくり評価委員会	津島町
	10日	介護支援専門員現任研修	県社協
	17日	在宅介護支援センター緊急総会	県社協
	25日	キネステティック体験セミナー	松山市
1月	13日	心配ごと相談員研修会（～14日）	松山市
	28日	基幹型在宅介護支援センター研修会	新居浜市
	24日	市町村社協コミュニティワーカー研修会	県社協
	31日	ボランティアコーディネーター研修会（～1日）	今治市
2月	6日	広汎性発達障害のある子供の支援研修会	松山市

2月14日	福祉用具講習会	県社協
19日	軽度発達障害セミナー	新居浜市
24日	生活支援員研修会	新居浜市
26日	重症心身障害者在宅介護支援研修会（～27日）	東温市
26日	愛媛県在宅介護研修センター研修	松山市
26日	自閉症児・者の個別移行支援研修	松山市
27日	てんかんの基礎知識講習会	新居浜市
3月9日	ケアマネージメントリーダー連絡会	松山市
10日	市町社協常務理事・事務局長会議	県社協
15日	市町ボランティア連絡協議会代表者会	県社協
22日	全国在宅介護支援センター研修会（～23日）	横浜市
24日	愛媛県在宅介護研修センター研修	松山市
26日	軽度発達障害セミナー	新居浜市
29日	愛媛県在宅介護支援センター協議会	松山市

二、地域福祉事業の推進

住民が、より身近な地域で福祉サービスを受用できる地域づくりを目標に、旧社協が実施してきた各種事業の継続・拡充を図るとともに、福祉サービスの情報提供と連携強化に努めた。

1、第1回西条市社会福祉大会の開催

新たな西条市社会福祉協議会の設立を記念するとともに、関係者の連帯感を高揚し、また市民に新社協を強くアピールすることによって一層の理解を得ることを目的に「第1回西条市社会福祉大会」を開催した。

日 時 平成17年1月30日 10時～12時30分

場 所 西条市総合文化会館大ホール

参加者 各支部より約1000名

記念講演 講師 タレント 久里千春 さん

演題 「一度きりの人生 一度きりの巡り会い」

特別行事 第1回福祉施設展示即売

社会福祉施設入所者等の手作り製品を展示販売することによって施設への理解を深めるとともに当事者の生きがい向上に多大な成果を得た。

参加施設 萩の里、さくらんぼハウス、ちゅうりっぷ福祉作業所、東予学園、道前育成園、東予希望の家、ふれあい作業所、あけぼの福祉作業所

2、支部社協の育成

社会福祉協議会活動を市民に浸透させるために支部社協が果たす役割には非常に大きなものがある。合併により26支部社協となったが、その規模、財政状況、活動状況には大きな格差が認められるため、適宜支部社協活動の指導及び情報提供に努めた。

3、まごころ銀行運動の推進

活力ある福祉社会実現のため地域住民の善意を發揮し、あわせて福祉の理念・思想の高揚を図ることを目的にまごころ銀行を開設し、寄附金品の受入を行なった。

平成16年度まごころ銀行預託状況

	取扱件数（金銭及び物品）			
	西条支所	東予支所	丹原支所	小松支所
11月		8	3	
12月	4	15	4	3
1月	4	8	3	1
2月	6	16	6	
3月	7	7	7	1
合計	21	54	23	5
備考	預託件数		103件	
	預託金額		1,266,159円	

4、広報・啓発活動の強化

社協活動を効果的に推進するためには住民の理解が不可欠なため、広報活動はますます重要となっており、一層の充実強化に努めた。

- (1) 社協機関紙「幸せの架け橋」の発行 2回全戸配布
- (2) 市広報への記事掲載（まごころ銀行、相談事業他）
- (3) 愛媛県福祉人材センターへの協力
- (4) 共同募金事業について HANET への掲載
- (5) ホームページの公開（ボランティアセンターニュース）
- (6) インターネット活用による情報収集の実施
- (7) マスコミへの情報提供

5、住民参加型在宅福祉サービス事業の実施（西条支所）

本格的な少子・高齢化の進展、家族機能の変化等により福祉サービスの需要は大きく変容している。地域で生活する高齢者、障害者等への生活支援の一端をボランティアに担っていただくことにより、よりきめ細やかな対応が可能となることから、住民参加型有償ボランティア（点数預託制）による「ぬくもりボランティア福祉サービス事業」を実施した。

- ①登録数 利用会員 20名 協力会員 124名
- ②月別サービス利用状況

区分	11月	12月	1月	2月	3月
利用人数	4	5	4	5	4
利用延人数	21	13	13	16	11
協力数・回数	29	22	19	21	13
預託点数	56	32	27	45	17

6、身体障害者関係行事への協力

聴覚障害者に対する手話通訳派遣	適宜（東予支所）
聴覚障害者に対する要約筆記派遣	適宜（東予支所）
身障世帯等に対する車椅子貸出	適宜
視覚障害者に対する広報活動実施	朗読テープ、点字広報（東予支所）

7、福祉サービス利用援助事業の実施

「地域福祉権利擁護事業・福祉サービス利用援助事業」に取り組み、登録高齢者及び障害者の支援を行なった。

- ・生活支援員配置 5名
- ・登録利用者数 7名
- ・生活支援員研修会への派遣

8、屋内ゲートボール場事業

高齢社会の進行と余暇時間の増大により人々の健康づくりに対する関心は高まりを見せている。生涯スポーツの振興と高齢者の生きがいつくり、コミュニティ育成によって地域福祉の向上を図るため、屋内ゲートボール場の利用促進に努めた。

9、少年式記念行事実施

各中学校で行なわれる少年式行事に助成を行った。

10、中学校卒業就職者激励事業の実施

義務教育終了後に就職する中学生に対して、記念品を贈り激励した。

対象者 23名

11、2005年スペシャルオリンピックス冬季世界大会 500万人トーチラン in 愛媛への協力

スポーツを通じて知的発達障害のある方の社会的自立を支援するスペシャルオリンピックス冬季世界大会が長野県で開催（2月26日～）されることを支援するとともに、知的発達障害への理解を深めるために実施された「2005年スペシャルオリンピックス冬季世界大会 500万人トーチラン in 愛媛・プレ西条大会」へ協力・参加した。

平成17年1月30日（日） 13:00 西条市総合福祉センター周辺

三、ボランティア活動及び福祉教育の推進

福祉ボランティアのまちづくりをめざし、あらゆる機会を通じてボランティア活動に対する住民の関心を高め、住民ニーズを積極的に開拓するとともに、活動にあたって必要な援助を行なうことにより、いつでも、どこでも、誰でも、気軽にボランティア活動に参加できる体制の整備に努め、地域における福祉コミュニティの形成を図ることを目的にボランティア活動支援事業を実施した。

また、次代を担う青少年を中心として福祉教育を推進した。

1、ボランティアセンター設置・運営

(1) 専任コーディネーターの配置（本所・西条支所）

- ・各種講座の企画、実施
- ・ボランティア活動の相談、斡旋
- ・ボランティア推進会議の運営
- ・愛媛県愛と心のネットワーク事業への協力

(2) 啓発事業の実施

- ・社協機関紙「幸せの架け橋」にボランティア記事掲載 全戸配布
- ・ホームページの作成、公開

<http://www11.ocn.ne.jp/~toyocsw/>

- ・愛媛ボランティアネットへの参加

(3) 各種ボランティア講座の開催

多様化する福祉ニーズに対応するため、新たな講座を含め各種ボランティア講座及び奉仕員養成講座（受託事業）を開催し、福祉教育の推進及びボランティア育成に努めた。

ボランティア講座開催状況

講座名		開始日	実施回数	参加人員
布絵ボランティア養成講座		平成16年10月24日～	6	12
保育サポートボランティア養成講座		平成16年10月27日～	2	10
絵手紙ボランティア養成講座		平成17年1月25日～	6	16
災害福祉救援ボランティア講座		平成17年1月29日	1	20
奉仕員養成講座	朗読奉仕員養成講座（後期）	平成16年10月20日～	6	10
	手話奉仕員養成講座	平成16年10月20日～	10	16
	点訳奉仕員養成講座	平成17年1月20日～	10	8

(4) 第1回西条市ボランティアフェスティバル開催

市内で活動するボランティアの交流を図るとともに、日頃の活動を広く市民に紹介することによってボランティア活動の一層の振興を図るため、ボランティアフェス

ティバルを開催した。

①平成17年3月13日（日）開催 西条市中央公民館

②参加団体

ジュニアの部（7団体） 周布小学校、東中学校、西中学校、河北中学校、東予少年少女合唱団、ボーイスカウト東予一団、西条市ボーイスカウト
一般の部（35団体） 手話サークルひまわり、東予点訳サークル、VYS、し
らさぎ、朗読サークル木精、西条朗読奉仕会、スマイル、精神保健あやとり、
いのちの電話、要約筆記オリーブ東予、外出介助アイアイ、陶芸やきやき会、
美窯会、みなみ、出逢いの会、みちくさ倶楽部、ハーモニー、オレンジ・ペ
コ、パソボラネット、絵手紙描こう会、傾聴イリス、ニューフレンズハーモ
ニー、国際交流21センチュリー、読み語りお話しポケット、グループつゆ
草、精神保健福祉ふぁみりー、東予市凧の会、シェイクハーツ、布絵、環境
美化の会、栄養推進協議会、道前育成園、東予学園、ふれんずはうす、ふれ
あい作業所

③実施内容 ふれあいステージ、体験コーナー、バザーコーナー

④募集 ボランティアの詩

市内小・中・高校生からの応募数160編、文集発行

(5) ボランティア活動推進会議の開催

各ボランティア団体長及び関係施設により推進会議を開催した。また、西条市ボ
ランティア団体連絡協議会と東予市ボランティア連絡協議会の合併協議を支援した。

(6) ボランティア交流室の運営（西条・東予）

西条市総合福祉センター及び西条市東予総合福祉センター内ボランティア交流室
の運営を行ない、ボランティアの利用に便宜を図った。

(7) ボランティアグループの活動援助

ボランティアグループの活動及び運営について助言・指導を行ない、活動の充実強
化を支援した。

(8) ボランティア活動保険加入促進

ボランティア活動中の事故に備えるため、ボランティア活動保険の加入助成を行な
い、加入促進を図った。

2、福祉教育の推進

市内学校の総合学習における福祉教育への取り組みを促進するため、小・中・高等学
校への啓発を進め、各種体験講座の受け入れ及び講師派遣を行った。

①福祉教育協力校指定 旧西条市内小・中学校及び旧東予市内中学校

②中学生職場体験事業への協力

③児童を対象とするボランティア啓発の推進

④社会福祉援助技術現場実習生の受入れ（大学生）

四. 福祉相談・援助事業の推進

1. 福祉相談所の運営

地域住民の抱える生活福祉問題はますます多様化を見せている。社会福祉協議会は市民の相談窓口として心配ごと相談所を中心に福祉相談所の機能を充実させるとともに、相談員の知識・技術の向上と関係機関との連携のもとに、運営強化に努めた。

(1) 心配ごと相談事業の実施

①心配ごと相談所の開設

西条支所 月～金 13：00～16：00 総合福祉センター

東予支所 月・金 9：00～12：00 東予総合福祉センター

丹原支所 火 9：00～12：00 丹原福祉センター

小松支所 月5回 13：00～16：00 小松公民館／農村環境改善センター

②心配ごと相談所相談員研修会に相談員を派遣

③平成16年度心配ごと相談所実績（年間分）

項 目		取扱件数	取扱件数内訳			
			西条支所	東予支所	丹原支所	小松支所
1	生 計	29	15	3	8	3
2	年 金	11	1			10
3	職 業・生 業	19	13		2	4
4	住 宅	23	11	5	6	1
5	家 族	34	11	3	10	10
6	結 婚	4	2	2		
7	離 婚	17	11	3	1	2
8	健 康・衛 生	2	1			1
9	医 療	12	9	1	1	1
10	精 神 衛 生	28	20	1	2	5
11	人 権・法 律	68	57	5	3	3
12	財 産	46	19	7	7	13
13	事 故	8	2		3	3
14	児 童・母 子	4		2		2
15	教 育・青 少 年	11	6	1	1	3
16	心 身 障 害 者	8	4	2		2
17	母 子・父 子	4	3			1
18	老 人 福 祉	49	40	2		7
19	苦 情	21	8	5	6	2
20	そ の 他	36	29	4	3	
合 計		434	262	46	53	73

(2) 福祉相談の実施

- ・介護相談 介護支援専門員等により毎日実施（執務時間中）
- ・ボランティア相談 ボランティアコーディネーターにより実施（執務時間中）
- ・一般相談 事務局職員により毎日実施（執務時間中）

2、生活福祉資金の貸付推進

社会経済情勢の複雑化に伴い、低所得者や身体障害者世帯等の生活は不安定な状況にあり、これら世帯の生活意欲の助長促進と自立更生を目的とした生活福祉資金貸付制度の運営を行った。

(1) 生活福祉資金の貸付

①平成 16 年度新規貸付実績

福祉資金 1 件 1,950,000 円

災害資金 1 件 1,155,000 円

修学資金 1 件 1,940,000 円

(2) 更生援助運動の推進

民生児童委員を中心として、生活困窮世帯の把握、生活福祉資金償還困難者への指導等を実施した。

五、共同募金運動等の推進

1、共同募金配分金事業の実施

共同募金運動が民間社会福祉事業の振興に寄与し、さらに理解を深めるうえに果たしてきた役割は極めて大きい。

特に平成 16 年度においては未曾有の台風災害に対して愛媛県共同募金会より見舞金が配分された（一般事業は合併前に終了）。

配分件数 668 件 配分金額 7,520,000 円

台風 21 号災害（平成 16 年 9 月 29 日発生）

区 分		西条	東予	丹原	小松	合 計	配分額
被 災 状 況	死 亡	4			1	5	150,000
	行方不明					0	0
	重 傷	2				2	40,000
	全 壊	18		1	6	25	500,000
	半 壊	52			42	94	1,410,000
	床上浸水	427	6	6	61	500	5,000,000
	一部損壊	8				8	80,000
合 計		511	6	7	110	634	7180,000

台風 23 号災害（平成 16 年 10 月 20 日発生）

区 分		西条	東予	丹原	小松	合 計	配分額
被災 状 況	死 亡					0	0
	行方不明					0	0
	重 傷					0	0
	全 壊					0	0
	半 壊					0	0
	床上浸水	27		3	2	32	320,000
	一部損壊			2		2	20,000
合 計		27		5	2	34	340,000

2、歳末たすけあい運動の実施

歳末にあたり、援護を要する人々を対象に、たすけあいによる物心両面の援護活動を行なうことを目的とし「あなたのまちの幸せのために」をスローガンとして支所単位で歳末たすけあい運動を展開した。

配分件数 2,038 件 配分金額 5,785,000 円

平成 16 年度歳末たすけあい運動実績

使 途	西条支所		東予支所		丹原支所		小松支所	
	件数	配分額	件数	配分額	件数	配分額	件数	配分額
在宅対象者	1017	3,460,000	921	2,069,000	10	100,000	2	6,000
施設等対象者	18	36,000	26	75,000			3	9,000
在宅サービス			1	10,000			40	20,000
合 計	1035	3,496,000	948	2,154,000	10	100,000	45	35,000

六、在宅福祉サービスの推進

1、介護保険事業等への取組及び充実強化

介護保険事業は、合併に伴い 4 事業 11 事業所 2 出張所の体制となり、従事職員も 270 余名（兼務含む）を数える規模となった。

各事業の一層の充実強化を図るため、事業所間の調整を行い、職員の資質向上に努めることによって良質で安定した介護保険サービス提供体制の整備に努めた。

(1) 居宅介護支援事業の実施及び充実強化

要介護認定者に対して十分なアセスメントを行ない適切な居宅介護支援計画（ケアプラン）の作成に努めた。

西条市社会福祉協議会ケアプランセンター

①介護支援専門員の適正配置

	西条支所	東予支所	丹原支所	小松支所	合 計
職員数	2	9	4	5	20

②介護支援専門員研修会への派遣

③要介護認定代行申請の実施及び訪問調査事業の受託実施

④要介護認定審査会委員会への協力

⑤月別居宅介護支援計画作成者数

支 所	11月	12月	1月	2月	3月
西条支所	69	71	74	74	72
東予支所	378	385	381	378	385
丹原支所	167	169	166	162	167
小松支所	212	214	208	211	207
合 計	826	839	829	825	831

(2) 訪問介護事業の実施及び充実強化

ホームヘルプ活動は、利用世帯の生活に密接に関わるため、ホームヘルパーの資質向上に努めるとともに、派遣体制の充実を図るなど強化に努めた。

西条市社会福祉協議会ヘルパーセンター

①派遣体制の充実

365日サービス提供体制の保持及び利用希望増加に対応するため登録ホームヘルパー等の拡充を行った。

ホームヘルパー数（3月末現在）

支 所	介護福祉士	看護師	1級課程	2級課程	合 計
西条支所	5			50	55
東予支所	15	2	5	73	95
丹原支所			4	20	24
小松支所	1			21	22
合 計	21	2	9	160	196

(全員兼務体制)

②事業所単位によるホームヘルパー会を適宜開催し、自主研鑽に努めた。

③月別訪問介護利用者数

支 所	11月	12月	1月	2月	3月
西条支所	94	98	97	98	100
東予支所	243	240	236	232	243
丹原支所	68	62	63	59	66
小松支所	51	54	54	52	54
合 計	456	454	450	441	463

(3) 訪問入浴介護事業の実施及び充実強化

要介護認定者のうち重度の方に対し、訪問入浴介護事業を実施し、その福祉向上及び介護者の負担軽減を図った。

西条市社会福祉協議会訪問入浴センター

①介護職員数（3月末現在）

支 所	看護師	介護福祉士	2級課程	合 計
西条支所	5		2	7
東予支所	8	1	4	13
合 計	13	1	6	20

②月別訪問入浴介護利用者数

支 所	11月	12月	1月	2月	3月
西条支所	26	27	29	29	26
東予支所	37	36	41	41	38
合 計	63	63	70	70	64

(4) 通所介護事業の実施及び充実強化

要介護認定者に対し、デイサービスセンターにおいて通所介護サービスを提供し、その福祉向上及び介護者の負担軽減を図った。

西条市社協デイサービスセンターひまわり

西条市社協デイサービスセンターさくら

西条市社協デイサービスセンターつばき

①デイサービス関係職員の状況（兼務職員含む）

施 設	社会福祉士	介護福祉士	看護師	その他	合 計
ひまわり	1	5	2	5	13
さくら	1	2	3	6	12
つばき	1	5	3	4	13
合 計	3	12	8	15	38

②月別通所介護利用者数

施 設	11月	12月	1月	2月	3月
ひまわり	102	106	102	102	100
さくら	102	98	101	100	107
つばき	122	117	113	110	107
合 計	326	321	316	312	314

2、障害者（児）支援費事業の実施

障害者支援費事業は、合併に伴い5事業12事業所3出張所の体制となった。各事業の一層の充実強化を図るため、事業所間の調整を行い、職員の資質向上に努めることによって良質で安定した支援費サービス提供体制の整備に努めた。

(1) 身体障害者居宅介護（ホームヘルパー派遣）事業の実施

身体障害者居宅介護事業、知的障害者居宅介護事業、児童居宅介護事業の指定を受

け、良質で安定した障害者居宅サービスの提供体制を整備するとともに、職員の資質向上に努め、支援費支給決定者に対し、介護及び生活支援を行なった。

①月別身体障害者居宅介護事業利用者数

支 所	11月	12月	1月	2月	3月
西条支所	6	6	6	6	6
東予支所	15	15	14	15	14
丹原支所	1	1	1	1	0
小松支所	6	5	5	5	6
合 計	28	27	26	27	26

※従事ヘルパーは介護保険事業と兼務

②月別知的障害者居宅介護事業利用者数

支 所	11月	12月	1月	2月	3月
西条支所	0	0	0	0	0
東予支所	2	2	2	2	2
丹原支所	0	0	0	0	0
小松支所	0	0	0	0	0
合 計	2	2	2	2	2

※従事ヘルパーは介護保険事業と兼務

③月別児童居宅介護事業利用者数

支 所	11月	12月	1月	2月	3月
西条支所	3	3	3	3	3
東予支所	0	0	0	0	0
丹原支所	0	0	0	0	0
小松支所	0	0	0	0	0
合 計	3	3	3	3	3

※従事ヘルパーは介護保険事業と兼務

(2) 身体障害者デイサービス事業の実施（東予・小松支所）

在宅の身体障害者に対して、通所の方法により各種サービスを提供することによって、当該障害者の自立生活の助長、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持向上を図ることを目的に西条市社協身体障害者デイサービスセンターひまわり及び西条市社協デイサービスセンターつばきにおいて身体障害者デイサービス事業を実施した。

身体障害者デイサービス利用者数

施 設	11月	12月	1月	2月	3月	備 考
ひまわり	11	11	11	13	13	火、木、土開設
つばき	18	19	17	13	16	介護保険施設相互利用
合 計	29	30	28	26	29	

(3) 児童デイサービス事業の実施（東予支所）

在宅の心身障害児に対して、親子通所の方法により各種サービスを提供することによって、当該障害児の心身機能の維持向上を図ることを目的に西条市社協児童デイサービスセンターひまわり（西条市石田 339-1）において児童デイサービス事業を実施した。

児童デイサービス利用者数

施設	11月	12月	1月	2月	3月
ひまわり	1	2	2	2	3

3、精神障害者ホームヘルパー派遣事業の実施

精神障害者の介護及び生活支援を行ない、自立助長を進めることによって当該世帯の福祉向上及び家族の負担軽減を図るため精神障害者ホームヘルパー派遣制度を受託実施した。

月別精神障害者ホームヘルプ事業利用者数

支所	11月	12月	1月	2月	3月
西条支所	3	4	5	4	4
東予支所	4	4	4	4	4
丹原支所	7	7	7	7	7
小松支所	1	1	1	1	1
合計	15	16	17	16	16

※従事ヘルパーは介護保険事業と兼務

4、身体障害者訪問入浴サービス事業の実施（西条支所）

重度身体障害者で家庭での入浴が困難な方に対し、その福祉向上及び介護者の負担軽減を図るため、身体障害者訪問入浴サービス事業を受託実施した。

月別訪問入浴サービス利用者数

支所	11月	12月	1月	2月	3月
西条支所	5	6	6	6	5

※従事介護員は介護保険事業と兼務

5、介護予防・地域ささえあい事業の実施

寝たきり高齢者、認知症高齢者、虚弱高齢者及び一人暮らし高齢者やその家族等に対し、要介護状態にならない、あるいは状態が悪化しないように各種サービスを提供することにより、高齢者の自立と生活の質の確保を図ること、並びに生きがいや健康づくり活動、寝たきり予防のための知識の普及・啓発をとおして健やかで活力ある地域づくりを推進し、高齢者等の総合的な福祉を向上させることを目的として各種事業を実施した。

(1) 高齢者生活管理指導員（ホームヘルパー）派遣事業の受託実施

介護保険非該当（自立判定）の高齢者のうち生活支援が必要な方に対し、ホームヘルパーを派遣し自立助長を図った。

月別高齢者生活管理指導員派遣事業利用者数

支 所	11月	12月	1月	2月	3月
西条支所	10	10	8	9	9
東予支所	23	22	18	18	18
丹原支所	1	2	2	2	2
小松支所	11	10	10	10	10
合 計	45	44	38	39	39

※従事ヘルパーは介護保険事業と兼務

(2) 軽度生活援助事業の受託実施（西条支所）

軽易な日常生活上の援助を行うことにより、在宅の一人暮らし高齢者等の自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行を防止することを目的に軽度生活援助事業の適正実施及び充実強化に努めた。

①月別軽度生活援助事業利用者数

支 所	11月	12月	1月	2月	3月
利用人数	27	30	23	28	24
利用時間	104	116	88	107	94

(3) 生きがい対応通所事業の受託実施

在宅の虚弱高齢者（介護保険非該当者）に対して、通所の方法により各種のサービスを提供することによって、自立生活の助長、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持向上を図ることを目的に生きがい対応通所事業の適正実施及び充実強化に努めた。

西条支所生きがいデイサービス（東部・西部地域交流センター、老人憩いの家）

月	開所 日数	登録 者数	利用者数	
			延人数	日平均
11月	16	68	216	13.5
12月	14	65	191	13.6
1月	15	64	186	12.4
2月	16	64	187	11.7
3月	18	62	220	12.2
合計	79	—	1000	12.7

東予支所生きがいデイサービス（北・南地域交流センター、本谷温泉）

月	開所 日数	登録 者数	利用者数	
			延人数	日平均
11月	26	272	326	12.5
12月	26	272	318	12.2
1月	27	272	323	11.9
2月	24	275	282	11.7
3月	30	275	356	11.8
合計	133	—	1,605	12.0

丹原支所生きがいデイサービス（さくら相互利用型）

月	開所 日数	登録 者数	利用者数	
			延人数	日平均
11月	22	38	106	4.8
12月	20	38	95	4.7
1月	20	36	93	4.6
2月	18	38	94	5.2
3月	22	39	119	5.4
合計	102	—	507	4.9

小松支所生きがいデイサービス

月	開所 日数	登録 者数	利用者数	
			延人数	日平均
11月	20	239	306	15.3
12月	18	238	254	14.1
1月	19	239	270	14.2
2月	18	230	216	12.0
3月	22	311	310	14.1
合計	97	—	1,356	14.0

(4) 家族介護教室の開催（小松支所）

家庭での介護方法や寝たきり予防のための知識の啓発を行い、介護負担の軽減や寝たきり予防を目的として家族介護教室を開催した。

平成16年12月2日～ 19回開催（区域内集会所を巡回） 177人参加

(5) 配食サービス事業の実施

在宅高齢者の生活の支援と生活の質の向上を図るとともに、独居高齢者の安否確認を行うことを目的として配食サービス事業を受託実施した。

月別配食サービス実施状況

支所	区分	11月	12月	1月	2月	3月	備考
西条支所	利用人数	108	104	102	95	98	業者委託
	提供数	2287	2260	1982	1877	1994	
丹原支所	利用人数	49	32	29	30	30	ボランティア調理
	提供数	147	64	58	60	60	
小松支所	利用人数	128	130	130	131	132	デイサービス調理
	提供数	324	308	273	255	352	

(6) 高齢者筋力向上トレーニング事業の実施（小松支所）

高齢者が要介護状態となることを予防、又は要介護状態の軽減もしくは悪化の防止を図り、もって高齢者の住み慣れた地域での自立した活動的な生活を実現することを目的として、筋力向上トレーニング事業を受託実施した。

高齢者筋力向上トレーニング事業実施状況

区 分	12月	1月	2月	3月
実施日数	2	23	22	19
登録者数	7	21	21	21
利用延人数	12	148	139	114
1日平均利用者数	6.0	6.3	6.4	6.0

6、独居老人日々面接制度の実施（東予支所）

独居老人の孤独感の解消、不測の事故防止等を目的として市内8名の独居老人の近隣の方に面接員を委嘱し、日々面接活動を実施し効果をあげた。

7、見守り推進員制度の運営（東予支所）

高齢化の進展に伴い独居老人が増加し、高齢者の1割以上を占めるに至っている。独居老人が安心して生活できるよう、地域住民が一体となって見守る体制をつくり、ニーズの発見からサービスの提供へと結びつけることにより、高齢者福祉の向上を図ることを目的に見守り推進員制度を受託実施した。

見守り推進員設置数 66名

8、在宅介護支援センター事業の実施

介護や生活に不安のある高齢者やその家族の総合相談窓口として在宅介護支援センター事業を受託実施した。

（1）基幹型在宅介護支援センター 西条市総合福祉センター内

- ①相談業務の実施
- ②地域型支援センター（8ヶ所）との連携
在宅介護支援センター定例会の開催・・・5回
委員会の開催・・・13回
- ③教室・講座開催・・・3回
- ④介護実習室福祉用具展示
- ⑤広報活動及び関係機関との連携

（2）在宅介護支援センター小松（地域型） 小松支所

- ①相談業務の実施
- ②在宅介護支援センター定例会への参加
- ③実態把握調査の実施 114件
- ④介護予防ケアプラン作成
- ⑤広報活動及び関係機関との連携

9、高齢者生活福祉センター維持管理事業（丹原支所）

高齢者に対して、介護支援機能、居住機能および交流機能を総合的に提供することによ

り、高齢者が安心して健康で明るい生活を送れるよう支援し、高齢者福祉の向上を図ることを目的として、高齢者生活福祉センター維持管理事業を受託実施した。

- ①施設の維持・管理業務実施
- ②入居者の日々の健康チェック実施
- ③入居者外出時の支援を実施
- ④宿直業務を実施（シルバー人材センター委託）
- ⑤入居状況（室数：10室）

区 分	11月	12月	1月	2月	3月
入居室数	8	8	8	8	8
入居者数	10	10	10	10	10

七、社会福祉関係機関・団体との協力提携

民生児童委員協議会、老人クラブ連合会、身体障害者協議会、母子寡婦福祉連合会、その他関係機関・団体と積極的な連携を進め、福祉活動の推進を図った。

八、その他、本会の目的達成のために必要な事業を行なった。